

平成30年度学校自己評価システムシート (開智未来中学校)

目指す学校像	国際社会に貢献する心ゆたかな“創造型・発信型”リーダーを育成する学校
--------	------------------------------------

重点目標	1 国際社会に貢献する心ゆたかなリーダーを育てる教育活動の推進 2 確かな学力と創造型・発信型知性を伸ばす授業・教育活動の推進 3 教育活動を開発し発信することで社会に貢献する学校づくり
------	---

達成度	A	ほぼ達成(8割以上)
	B	概ね達成(6割以上)
	C	変化の兆し(4割以上)
	D	不十分(4割未満)

出席者	学校関係者	4名
	事務局(教職員)	8名

※ 重点目標は3つ以上の設定も可。重点目標に対応した評価項目(年度達成目標を意味する。)は複数設定可。
 ※ 番号欄は重点目標の番号と対応させる。評価項目に対応した「具体的方策、方策の評価指標」を設定。

学 校 自 己 評 価							
年 度 目 標					年 度 評 価 (3 月 2 0 日 現 在)		
番号	現状と課題	評価項目	具体的方策	方策の評価指標	評価項目の達成状況	達成度	次年度への課題と改善策
1	自立・自律した知的集団創りを通して、学びと人間(知性と志)を迫及し、また、教育プログラムの改善・充実に努め、開智未来の教育を確立する(創り続ける)。プロジェクト3I'sに全職員で取り組み、組織的に推進する。	・学校目標を踏襲し、生徒の成長を促す。また、認知・非認知型の知性の双方を育てる。 ・3I'sにおいて特に発表力向上を達成する学年を超えてつながりある教育プログラムを作る。	・生徒会活動、委員会活動、クラス活動、部活動を利用して生徒の成長を図る。 ・文武一体を目指す部活動を実践する。 ・各学年のフィールドワークなどのプログラムを工夫、進化する。 ・未来tedを発展させ、企画力、発信力を高める。	・生徒会活動や部活動において生徒が自ら工夫し取り組む姿勢が成し遂げられているか。 ・未来tedを通して生徒の発表、発信力に向上が見られたか。 ・平常時の様々な活動が5I'sの中でより明確に位置づけられたか。	・生徒会主導により通学バス拠点における清掃、あいさつ運動を実施、地域への貢献活動を推進することができた。 ・未来tedでは各学年の探究活動と融合して工夫した発表を行うことで発信力の向上が実現できた。 ・5I'sのInquiry(探究)について多くの教員がこれを意識した授業づくりが推進された。	A	・中学部と高校部の活動の連携をより密にし、多くの生徒が系統的・効率的に取り組めるようにしていきたい。 ・iPadの導入にともない、ICT教育をさらに充実させるための具体的指針を定着させていく。 ・若い教員にさらなる力量アップを求め本校の教育の継承を目指していきたい。
2	3I'sプロジェクトの一端を成すICT環境を構築すると同時に授業での利用を視野に入れ、インフラの整備を行う。	コンピュータ室の更新や校内IT環境の整備、タブレット導入に対し具体的利用法の研究を深め計画的に実践する。	・国のIT補助金や保護者会からの支援を受けて、どれだけ高機能なシステムが構築できるか。	・授業での活用、校務の軽減を目指した構成になっているか。 ・タブレットをどのような形で活用するか、課題は何かなどきちんと整理できたか。	・タブレット導入をふまえたシステムが構築できた。 ・タブレット導入に際し、ICT委員会や教科会などを通じて活用方法の具体的研究と実践例の共有が推進できた。	AA	・ICT利用に関して更なる研究を進め、効果的な利用方法を模索する。 ・タブレット導入完成年度(31年度)まで発生するさまざまな問題に関し、教育レベル、インフラレベルでの切り分け対応を確立。
3	それぞれの学力層に応じた指導体制を確立し、どの生徒も伸びたという結果を追求する。また、多くの生徒の自立を促進させ、自ら伸びる生徒を育てる。	・家庭学習習慣の確立 ・つまづきへの早期対応方法の確立 ・校内体制の組織化と連携強化、個々の教員の力量アップ	・プルアップ講座、ミドルアップ講座、ビルドアップ講座を実施する ・「6つの授業姿勢」の徹底 ・長期休業講座(夏期、冬期、春期)を実施する ・教科研修会の実施(隔週)	・各授業・講座で「6つの授業姿勢」が行われているか。 ・学び合いを日常的に取り入れているか。 ・生徒は授業を正しく評価できているか。 ・教科単位で教授法の検討が行われているか。	・全教室に「6つの授業姿勢」を貼り、全教員で意識して取り組んだ。 ・学び合いは開智未来の授業の基盤になりつつある。 ・すべての学力層に対するケアを行った。 ・各教科で若い教員の指導に関する取組が進んだ。	A	・新転任の教員に「6つの授業姿勢」をさらに徹底したい。 ・学び合いの手法をさらに理論化したい。 ・隔週で教科研修会を行うことで情報共有を進める。 ・読解力向上のための組織的研究を行いたい。
4	辺境の地で、交通の便が悪く、施設・設備も貧弱な学校に生徒・教員を集め、学校・地域の活性化を目指すために、教育内容や教員、面倒見のよさをアピールしていく。	・生徒・教員募集 ・探究型入試の見直し ・学習環境の改善	・開智未来の教育をホームページやFBで発信する。 ・昨年同様WEB出願を取り入れシステムティックな入試体制を作る。 ・校内の学習環境をどれだけ整備できたか。	・多くのコンテンツを発信できたか。イベント申込者数や志願者数はどれだけ増えたか。 ・老朽化に伴う学習環境の未整備場所にどれだけ着手できたか。	・Facebookページの運用も安定して行われ、地方ミニコミ誌への広報が志願者・入学者増につながった。 ・独習のための学習スペースの工夫や、独習会場増設への準備など学習環境改善が進んだ。	A	・さらなる情報発信。特にFacebookの利用と生徒募集上の効果の研究 ・医系コースの具体的指導方法を確立し実行する。 ・学校以北在住の受験生を増やすためのさらなる具体的方法の模索。

学 校 関 係 者 評 価	
実施日	平成31年4月6日
学校関係者からの意見・要望・評価等	
<ul style="list-style-type: none"> ・未来ted(の動画)を見て、生徒の発表力の向上に驚かされた。 ・学校を訪れると、未来生たちが廊下ですれ違う度、元気に挨拶をしてくれる。 ・さまざまなFWを楽しみながら主体的に取り組んでいる。 ・顧問からのメッセージやFacebookホームページの動画配信等の情報で学校の様子がとてもよくわかる。 	
<ul style="list-style-type: none"> ・先進的なICT導入を目指すという言葉を信じ、保護者も心から応援したいと思う。 ・タブレット導入にともない、子供たちは思いのほか自然に使いこなしていると感じる。 ・中学生ならではの発達段階に応じた使い方や指導を工夫してほしい。 	
<ul style="list-style-type: none"> ・到達度に応じてどの層の生徒に対しても補修や講習を行う学校の姿勢は非常にありがたい。 ・授業参観に行くと中学すべての教室に「6つの授業姿勢」が貼ってあり、どのクラスでも同じ方針に基づく教育が行われていることがわかる。 	
<ul style="list-style-type: none"> ・実績を出しているのに入学生が思うように増えない点を寂しく感じるが、少人数で面倒見がよいという安心感がある。 ・学習環境が良くなって生徒たちも喜んでいる。 	